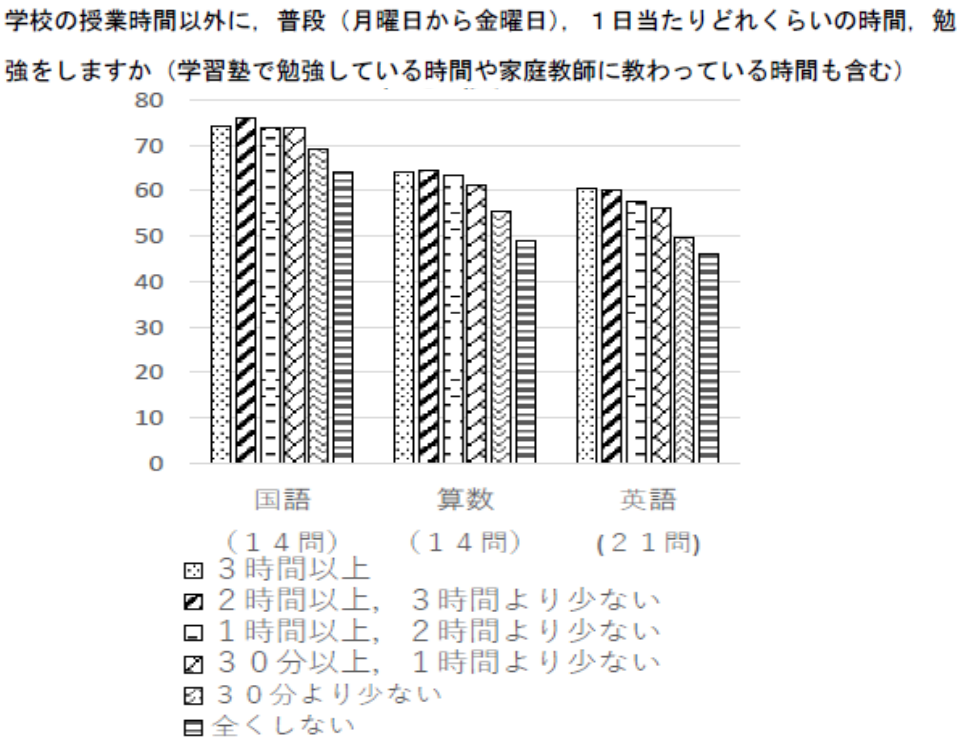
令和３年度「数学・英語応援団」実施要領

明石市教育委員会事務局学校教育課

１　趣　　旨

全国学力・学習状況調査結果の分析から、学校の授業時間以外の学習時間について平均正答率との関係で見れば、授業以外の学習を行うことは、学力向上につながるということが明らかである。（※１参照）特に、中学校３年生は、卒業後の進路選択という大きな節目が待ち受けている。

そこで、放課後の時間を有効に活用し、学習することの意義を再認識させ、教員 OB や地域住民等の協力を得て、放課後を活用した学習教室を開催し、生徒たちの学びを支える。



※１　平成３１年度全国学力・学習状況調査結果（中学校）より

２　実施内容

（１）基礎的・基本的な学力の定着を目的とした数学と英語の学習教室を令和３年６月～令和４年２月までの放課後に１時間程度、年間２０回程度実施する。

（２）生徒への学習支援は、教員 OB、地域人材や学生等からなる指導ボランティアによるものとする。

（３）生徒は、各自の課題に応じた学習等に取り組み、指導ボランティアがその支援を行う。

３　実施方法

（１）実施対象校

明石市立中学校（１３校）

（２）対象生徒

「数学・英語応援団」に参加を希望する中学校生徒

（募集人数）１会場あたり、２０名程度とするが、新型コロナウイルス感染症対策に留意し、各学校の状況に応じて参加生徒を決める。

（３）実施期間

令和３年６月～令和４年２月

（４）実施回数

年間２０回程度

（５）実施場所

市内各中学校教室等（新型コロナウイルス感染症対策が可能な場所）

（６）経費等

・指導ボランティアには、１回あたり 2,000 円（税込）の謝金を支払う。

・指導ボランティアには市の旅費に関する条例に基づき旅費を実費支給する。

（７）募集について

・実施校の生徒に対し、生徒の学習状況に応じた課題（数学・英語の基礎的・基本的な内容）に取り組むという趣旨を周知する内容の募集案内を明石市教育委員会より配布する。（チラシ）

・学校より配布する際に、本事業の趣旨について説明を依頼する。

・各校の指導ボランティア、参加生徒が決定次第、所定の書類にとりまとめ、名簿を学校教育課に提出する。

（８）生徒の参加について

・下校の際は、安全について注意喚起する、また、複数で下校するなどの方法をとる際は、新型コロナウイルス感染症対策についても指導を行う。

・保護者承諾のうえ、参加させる。

（９）出欠について

・出欠の把握については、学校が行う。

４　そ の 他

（１）明石市教育委員会事務局は、事業実施の効果および成果、課題等について検証を行う。

・事業実施後、生徒及び指導ボランティアにアンケートを実施する。

（２）各学校において、指導ボランティアの調整や連絡を行う。

（３）実施当日の１２時現在の警報発令時、学校閉鎖、学年・学級閉鎖、その他、新型コロナウイルス感染症対策による休校時は実施しない。（前日に警報が出る可能性が高いと判断した場合は中止にする。その際は、学校から指導ボランティアへ連絡する。）